

やちよ 上下水道だより

第28号
令和2年
(2020年)
3月1日

●給水人口 197,813人
●給水普及率 99.1%
●下水道処理区域内人口 184,181人
●下水道普及率 92.3%
(令和元年9月30日現在)

災害に強い、安全・安心な上下水道へ



やちよ

災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。昨年の9月と10月に発生した台風により、各地で大きな被害がありました。八千代市上下水道局では、このような災害の発生に備え、毎年、防災訓練を実施し、職員の危機管理意識と対応能力の向上を図るとともに、応急対応に必要な資機材を備えています。今後も、過去の教訓を活かし、災害に強い上下水道となるよう努めてまいります。

地震発生を想定した訓練を実施しました



▲組立式の給水タンクを設置し、給水車から給水タンクへ水を移す作業の流れを確認

▲緊急用貯水槽がある西八千代調理場の敷地内で、給水作業の流れを確認

震災などの緊急時に職員が応急活動を迅速かつ的確に行えるよう、昨年の7月に防災訓練を実施し、今年の1月に災害対応訓練を実施しました。

地震により停電や断水が発生した状況を想定した応急給水・応急復旧訓練を実施しました。

千葉県山武市・東金市・多古町、福島県いわき市で 応急給水の応援活動を行いました



▲福島県いわき市での応急給水の様子

災害はいつ発生するかわかりません。各水道事業者は「まさか」の時に備え、各種の協定を結び、全国的に助け合うシステムを構築しています。また、八千代市では、耐震化されていない水道管を地震に強い耐震管へ入れ替える工事を進めています。

水道管の耐震化率(平成30年度末)

総延長 700.8km 耐震化率 58.1%

■耐震管 ■非耐震管

407.3km

293.5km

災害への備え

給水車・給水タンク



▲給水車による給水の様子



▲組立式の給水タンク

上下水道局庁舎には、2,000ℓの飲料水を供給できる給水タンクを搭載した給水車があります。

また、1,000~2,000ℓの飲料水を供給できる給水タンクを合計31基保有しており、災害時には応急給水所に給水タンクを設置して、給水活動を行います。

非常用給水袋

災害時に市民の皆様へ水を配るための袋です。6ℓの水を入れることができ、手提げのように持ったり、付属のベルトを使用してリュックサックのように背負うことができます。



上下水道局では17,000袋(令和元年12月末時点)保管しています。

その他の設備

非常用発電機

市内の浄・給水場の6箇所には、停電時でも施設を動かすことができるよう、非常用発電機が整備されています。

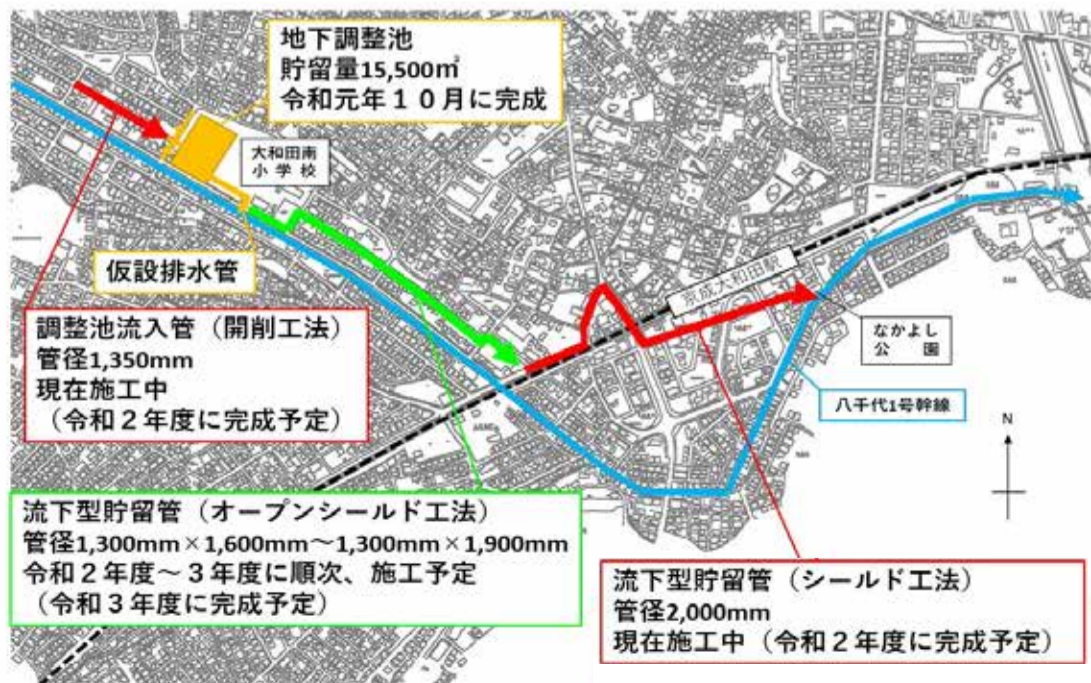
緊急用貯水槽

勝田台中央公園と西八千代調理場の敷地内に、100,000ℓの容量(約1万人×3日分を賅える水量)を持つ貯水槽が設置されています。災害時には、この貯水槽から給水を行うことができます。

備蓄水

500mlのペットボトル飲料水を13,400本(令和元年12月末時点)保管しています。

八千代1号幹線沿線地域の浸水被害を軽減するため、調整池を整備しました



平成25年に発生した台風26号の豪雨により、大きな被害をもたらされた八千代1号幹線沿線地域の浸水被害軽減のため、平成29年度から大和田南小学校の校庭の地下に貯留量15,500m³の調整池を築造する工事を行っていましたが、令和元年10月に完了しました。【図面:黄色部分】

今年度からは、調整池に溜まった雨水を、1号幹線の下流に流すための流下型貯留管の布設工事に着手し、その最下流にあたる、大和田の「なかよし公園」付近で工事を行っています。現在施工中の流下型貯留管は、管径が2,000mmある大きな雨水管で、地下約10mの場所にトンネルを掘って布設していきます。【図面:大和田駅付近の赤色部分】

また、今後も令和3年度の完成を目指して、順次工事を進めてまいります。【図面:赤色部分及び緑色部分】

この調整池と流下型貯留管が完成することで、家屋の床上浸水の抑制を図ります。

なお、流下型貯留管が完成するまでの間、調整池に一時的に溜めた雨水は、大和田南小学校前に設置している仮設の排水管から八千代1号幹線に流しています。

この他に、道路冠水が多発する箇所についても、順次、雨水排水施設の整備を行い、浸水被害の軽減を進めてまいります。

宅地内での漏水を確認することができます



各ご家庭には写真(上)のような、水道メーターボックスがあります。ボックスのフタを開けると写真(下)のような水道メーターを見ることができます。

■漏水の確認方法

- ①宅地内の蛇口を全て止めます。
 - ②トイレのタンクへ水を補給していないか確認します。
 - ③水道メーターを確認します。
 - ④水道メーターの上にある銀色の小さな円盤(パイロット)が回転していたら、漏水の可能性がります。
- 漏水を確認した場合は、八千代市指定給水装置工事業者(下記の市ホームページをご覧ください)に修理を依頼してください。

【八千代市指定給水装置工事業者】
<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/801000/page000026.html>

安全でおいしい水道水を毎日お届けしています

八千代市の水道水は、水道法で定められた水質基準を全て満たしている安全でおいしい水道水です。安全な水道水をお届けするため、水道水源から浄水場、各家庭の蛇口に至るまでの各段階において、定期的に水質検査を行っています。

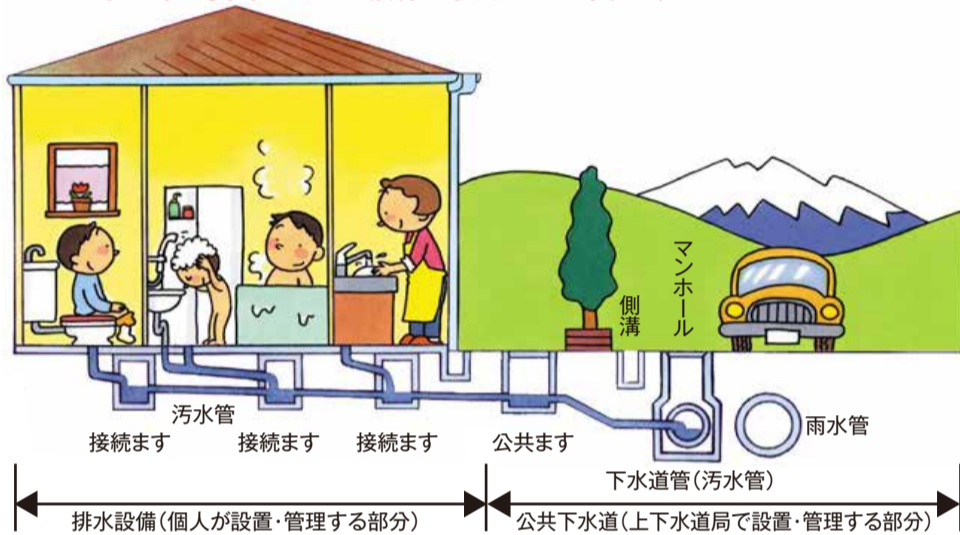
この水質検査の項目、場所、回数などは、毎年策定している「水質検査計画」の中で定めています。八千代市では、水道法で義務付けられた検査内容に加え、法令などで「検査することが望ましい」とされている内容まで検査をしています。

検査結果などの詳しい内容は、市ホームページから閲覧することができます。

【水道水の水質情報】
<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/802000/page000026.html>

下水道が詰まったときは？

下水道の詰まった箇所によって対応が異なりますので、下の参考図を基に場所と状態をご確認ください。



- ①公共下水道(公共ますより下水道管側)が詰まった時
公共ますの詰まりや破損等、道路にある下水道管までの詰まりや異常に気付いた時は、上下水道局下水道課(電話:047-482-0924)まで連絡してください。
- ②排水設備(公共ますより宅地側)が詰まった時
宅地内の排水設備は、みなさまの個人財産です。宅地内のトイレや台所、汚水管や接続ますなどの排水設備が詰まったり破損した場合は、個人の負担で修繕を行っていただくことになります。故障の原因がわからない場合は、八千代市指定の下水道排水設備工事業者(下記の市ホームページをご覧ください)に対応を依頼してください。業者に対応を依頼される場合は、事前に見積り金額を確認されることをお勧めします。

【八千代市指定下水道排水設備事業者】
<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/801000/page000010.html>

流すものにはご注意ください...

油類を台所の流しに捨ててしまうと、管の中で冷えて固まってしまい、汚水管が詰まる原因になります。油は紙で吸い取るか、固めて可燃ごみとして処理しましょう。また、トイレットペーパー以外の紙など、水に溶けないものをトイレに流すと、汚水管が詰まったり、下水道の重要な施設であるマンホールポンプが停止する危険があります。マンホールポンプは、汚水を低い位置から高い位置にくみ上げる施設です。この施設が停止すると、汚水があふれ、下水道が使えなくなってしまいます。下水道施設の適正な利用に、ご協力をお願いします。

マンホールカードを配布しています

マンホールカードは、地域によってデザインの違うマンホール蓋を、全国同じ規格のコレクションカードにしたものです。本市では、下水道事業着手50周年と市制施行50周年を記念して設置したカラーマンホール蓋を載せたカードを制作し、平成30年4月から配布を行っています。ぜひ、カードを手にとって、八千代市のカラーマンホール蓋をご覧ください。



表面にはマンホール蓋の写真と位置情報等が、裏面にはデザインの由来が記載されています。

| | 配布場所 | 配布時間 |
|------------------|--|----------------|
| 平日 | 八千代市上下水道局1階 給排水相談課 住所:八千代市萱田町596-5 | 午前9時から 午後5時 |
| 土曜日 日曜日 祝日 | 株八千代市水道サービス 住所:八千代市萱田町596-19 (八千代市上下水道局敷地内) 電話:047-485-6656 | |

マンホールカードに関するお問い合わせは、八千代市上下水道局下水道課へ(電話:047-482-0924)

配布開始から令和元年12月末までの期間で、3,784枚のカードを配布しました。このうち半数以上の2,149枚を県外の方に配布しており、北海道から九州地方まで、遠方の方々も八千代市に足を運んでいただいています。

上下水道クイズ

問題: 八千代市で1年間に使用される水道水の量は、東京ドーム何個分でしょう。

- ①1個分 ②15個分 ③50個分



東京ドームの体積は124万m³です。平成30年度に八千代市で使用された水の量は約1,840万m³で、東京ドーム約15個分に相当します。

●土日・祝日、早朝・夜間の漏水及び給水装置の故障・修理の連絡先

株八千代市水道サービス 電話▶047-485-6656
※平日の午前8時30分~午後5時15分は、八千代市上下水道局へ
電話▶047-483-6155(代表)

●水道の開・閉栓及び水道料金・下水道使用料の問い合わせ先

(お問い合わせの際には ①住所 ②氏名 ③検針票及び納入通知書に記載のある
使用者番号をお知らせください)

委託先▶第一環境(株) 八千代営業所
所在地▶八千代市萱田町535-11 パディービル1F
営業時間▶月~土(日曜・祝日・振替休日・年始(1/1~1/3)は休み)
午前8時30分~午後6時
電話▶047-483-5403
※長期不在(2か月以上)の際は閉栓のご連絡をお願いします。

●インターネットで水道の使用開始・中止の届出ができます。

東京電力エナジーパートナー(株)の「引越れんらく帳」を利用して、インターネットで水道の使用開始・中止の届出ができます。

上下水道局への水道の使用開始・中止の届出だけでなく、引越元・引越先の住所から電気・ガス・水道・電話等の事業者の連絡先を検索し、連携をしている事業者に対して一括で引越手続を行えます。

■引越れんらく帳 <https://www.hikkoshi-line.com/>

やちよ上下水道だよりに関するご意見・ご感想は、
八千代市上下水道局経営企画課まで
住所▶八千代市萱田町596-5
電話▶047-483-6572